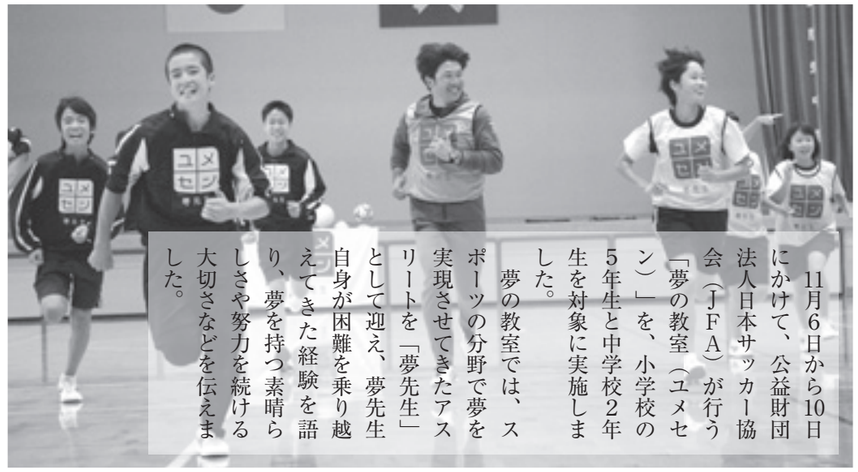
夢があるから強くなる！
夢の教室 開催



11月6日から10日にかけて、公益財団法人日本サッカー協会（ＪＦＡ）が行う「夢の教室（ユメセン）」を、小学校の5年生と中学校2年生を対象に実施しました。

夢の教室では、スポーツの分野で夢を実現させてきたアスリートを「夢先生」として迎え、夢先生自身が困難を乗り越えてきた経験を語り、夢を持つ素晴らしさや努力を続ける大切さなどを伝えました。

11/6 腹栄中学校

元プロサッカー選手
高橋（たかはし） 泰（ゆたか）さん（東京都出身）

『誰かのために頑張ること』

元プロサッカー選手。サンフレッチェ広島→大宮アルディージャ→ジェフユナイテッド千葉→ロッソ熊本（現、ロアッソ熊本）ではJ2昇格に大きく貢献。アビスパ福岡、愛媛FC、カスタマーレ讃岐でのプレイを経て2015年引退。現在はロアッソ熊本アカデミーコーチを務める。

「誰かのためにがんばる」という言葉が好きです。期待して、応援してくれる人がいるから、自分以上の力を出すことができます。17年間という長い間プロでやってこれたのも、たくさんの支えがあったからです。みんなにもこの言葉を大事にしてほしいです。

11/7 腹赤小学校・清里小学校

バドミントン選手
藤井（ふじい） 瑞希（みずき）さん（熊本県出身）

『継続することが大事』

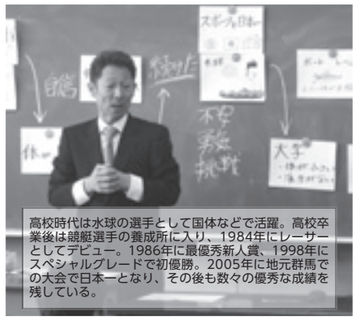
今、夢を持っていなくても、好きなことをたくさん追及してチャレンジし続けることで、夢や目標が見えてきます。毎日しっかり継続する。苦しいことは必ずあります。だけど、あきらめないことが大切です。次の私の目標は東京オリンピックで活躍すること。みんなに見てもらいたいと思います。

バドミントン選手。幼少期からバドミントンを始め、高校時代まで様々な大会で活躍。高校3年時のインターハイではシングルス、ダブルス、団体戦の三冠を果たす。2012年ロンドンオリンピックに出場し、日本人選手初の銀メダルを獲得した。

11/8 六栄小学校

競艇選手
江口（えぐち） 晃生（あきお）さん（群馬県出身）

『恐れるな、挑め』



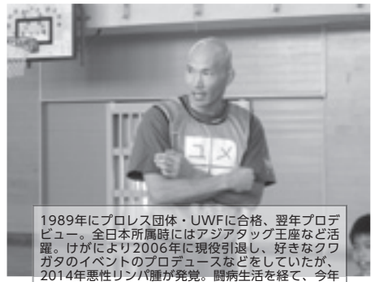
高校時代は水球の選手として国体などで活躍。高校卒業後は競艇選手の養成所に入り、1984年にレーサーとしてデビュー。1986年に最優秀新人賞、1998年にスペシャルグレードで初優勝。2005年に地元群馬での大会で日本一となり、その後も数々の優秀な成績を残している。

子どもの頃からスポーツが大好き。でも体が小さくて、自信が持てませんでした。それでもずっと続けたということが、自信につながりました。日本一のレーサーになった時は大勢の仲間が喜んでくれ、個人競技だけど一人だけでやってきたのではないと感謝の気持ちでいっぱいでした。叶わなかった夢もたくさんあります。でも、これから叶えたい夢もたくさんあります。皆さんも、失敗を恐れずに挑戦してほしいです。

11/9 長洲小学校

プロレスラー
垣原（かきはら） 賢人（まさひと）さん（愛媛県出身）

『ピンチはチャンス』



1989年にプロレス団体・UWFに合格、翌年プロデビュー。全日本所属時にはアジアタッグ王座など活躍。けがにより2006年に現役引退し、好きなクワガタのイベントのプロデュースなどをしていたが、2014年悪性リンパ腫が発覚。闘病生活を経て、今年リングに復帰した。

これまで、つらいことがあっても何度も立ち上がってきました。がんという病気がわかった時は本当にショックでした。しかし、まだまだやりたいことがあります。治療をしながら、叶えたい夢に向かってトレーニングしている今、本当に毎日が楽しいです。皆さんもピンチをチャンスに変え、あきらめずに夢に向かっていってください。

11/10 長洲中学校

プロビーチサッカー選手
茂怜羅（もれいら） オズさん（ブラジル出身）

『絶対にあきらめない』

ブラジルのリオデジャネイロで生まれ、17歳でビーチサッカーのプロ契約。20歳までブラジルのチームでプレイし、ドイツのチームを経て日本へ。全国大会では最多6度の優勝。2012年に日本国籍取得。2017年バハマでのFIFAビーチサッカーW杯では日本代表のキャプテンを務めた。

夢を絶対にあきらめないことが大事。「無理」と言うのは失敗が怖くてやっていないから。つらいことや困難を乗り越えて、日の丸をつけてワールドカップに出た時は言葉にならないくらい幸せでした。簡単ではないけど、W杯で優勝してビーチサッカーをもっと有名にしたいです。